

地震

Earthquake



駅にいるときは？

天井からものが落ちてくる可能性があります、揺れが収まるまでは慌てて逃げず、頭部を守り低い姿勢を保ち、安全確保に努めましょう。

揺れがおさまったら？

安全が確保できるまでその場にとどまり、必ず駅係員からの指示にしたがいましょう。

- Point**
- ・二次災害を防ぐために火は始末し、揺れがおさまっても余震に備え、避難経路を確保しておく。
 - ・倒れて来そうなものや窓からは離れる。

- ・災害時には冷静な判断による行動が求められます。本書は、このガイドブックを通して非常時の行動をイメージしてもらい、慌てず安全に避難するための方法を理解してもらうことが目的です。
- ・また、避難の際に、困っている人を見かけたら、積極的な協力をお願いします。
- ・このガイドブックは基本的な対応を紹介しています。変化し続ける災害時の状況に応じて、安全に行動してください。
- ・このガイドブックは見やすさに配慮したメディアユニバーサルデザイン (MUD) に基づいて制作しています。

注意！



地震発生時にはエスカレーターやエレベーターは停止します。また、余震や停電の恐れがあるので使用しないようにしましょう。

車内にいるときは？

電車が急停止することがあるので、つり革や手すりにしっかりと掴まりましょう。また、乗務員からの指示があるまでは列車の外に出ないようにしましょう。

運行はどうなるの？

非常時でも、状況を見て速度を落として運転する場合や、到着した駅で運転を取りやめる場合があります。

- Point**
- ・運行中に緊急停止する事もありますが、決して慌てずに乗務員の案内・指示に従いましょう。

台風

Storm



駅に水は入ってこないの？

大雨などの場合、駅構内に水が入らないように入出口に止水パネルなどが設置されます。

- Point**
- ・あらかじめ大きな水害が予想される場合には、安全な場所へ避難誘導が行われたあと、入出口が閉鎖されます。

強風のとき運行はどうなるの？

地上を運行する区間では、風速計が基準値を超えた場合、速度を落として運転したり、運転を見合わせる場合があります。

火災

Fire



駅にいるときは？

火災を発見したら、煙のない方向へ逃げ、火災報知器を押すか、駅係員に知らせましょう。周りの人にも火災がおこった事を伝えましょう。

- Point**
- ・消火器か屋内消火栓があれば可能な範囲で初期消火を行いましょう。
 - ・尚、天井付近まで延焼している場合は速やかに避難してください。
 - ・駅のホームには避難経路図や周辺地図が掲示されているので、普段から確認しておきましょう。

火災が起きていたら？

煙を吸い込まないようにハンカチ等で口を覆って、駅係員の指示や誘導灯に従い、できるだけ低い姿勢で避難しましょう。

車内にいるときは？

火災を発見したら火元から離れ、非常通報器を使って乗務員に知らせましょう。また安全のために他の車両に移動しましょう。

- Point**
- ・電車は燃えにくい素材でできているため、すぐには燃え広がりにません。慌てず、冷静に行動しましょう。
 - ・可能であれば備え付けの消火器で初期消火に努めましょう。

運行はどうなるの？

原則として、次の駅に到着するまでは運転を継続し、駅到着後に避難誘導が行われます。一時的に線路上で停止した場合でもむやみに車外へは出ないようにしましょう。

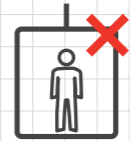
- Point**
- ・乗務員の指示なく勝手に車外に出ると他の電車との接触や高圧電線による感電などの恐れがあり大変危険です。

停電

Blackout



注意!



停電時にはエスカレータやエレベータは停止しますが、エスカレータを階段として使用するとステップが下がる恐れがあり大変危険です。

救助

Rescu



その他

Other



避難

Evacuation



共助

Mutual aid



駅にいるときは?

すぐに非常用の照明が点灯するので慌てず、駅係員の誘導に従って行動しましょう。

Point

- ・地下鉄には全ての駅に予備灯が完備されているので、停電しても暗転する事はありません。
- ・予備灯の他に、避難進路を示してくれる「誘導灯」も点灯しています。



・避難方向を示す「通路誘導灯」



・避難口を示す「避難口誘導灯」

車内にいるときは?

一度電車は停まり、照明は消えますが、すぐに非常用の照明が点灯し、必要な明るさを確保します。その後は落ち着いて乗務員の指示に従いましょう。

Point

- ・車内の停電はすぐに対処されるので、まずは慌てず落ち着くことが重要です。
- ・しばらく電車が動かなくても決して車外には出ないようにしましょう。

具合が悪そうな人がいたら?

駅係員に知らせるか、症状が悪そうな場合はすぐに119番通報しましょう。意識がない場合は回復体位にして救急車を待ちましょう。尚、全駅にAEDが設置されています。

人がホームから落ちたら?

駅ホームに設置されている「非常停止ボタン」を押しましょう。警報音が鳴り、電車が緊急停止します。

Point

- ・緊急時以外は絶対に押さないようにしましょう。

車内で何か起こった時は?

急病の人がいた場合や、不審物を見つけた時は「非常通報装置」のボタンを押しましょう。乗務員と通話ができます。

ホームで落し物をしたら?

駅係員に知らせると専用袋等で落し物を拾ってくれます。危険なので絶対に線路に降りないようにしましょう。

エレベータに閉じ込められたら?

緊急ボタンを押してレスキューや消防が来るのを待ちましょう。

駅にいるときは?

勝手な行動はせず、駅係員からの指示に従いましょう。

Point

- ・原則駅員は駅構内を出ても安全が確保できるまで避難誘導を続けてくれます。

車内にいるときは?

トンネル内で電車が停車し、動けなくなった場合は車両端からトンネル内に降りた後、乗務員の案内に従って近くの駅まで避難します。

Point

- ・トンネル内は非常に暗いので、足元に注意して慌てずゆっくり歩きましょう。

共助って?

自助、共助、公助の「三助」という考え方。その中でも互いに協力しようという「共助」の考えが、災害からより多くの人命を救います。

Point

- ・非常事態では、地下鉄に常駐している係員だけで十分な対応がとれるとも限りません。自分たちにできる範囲で協力しましょう。
- ・もちろん自分の身を守ることを優先しましょう。
- ・個人が非常時の対応について意識すれば、二次災害や災害そのものを減らす事ができるかもしれません。